

令和3年 第2回定例会

一 般 質 問

〔個人質問〕

印西市議会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	5 番	伊 藤 真 一	登壇一問一答方式
2	1 5 番	増 田 葉 子	一問一答方式
3	7 番	小 川 利 彦	一問一答方式
4	1 0 番	浅 沼 美 弥子	一問一答方式
5	4 番	松 本 有利子	一問一答方式
6	6 番	稲 葉 健	登壇一問一答方式
7	2 0 番	山 田 喜代子	登壇一問一答方式
8	3 番	藤 江 研 一	一問一答方式
9	2 1 番	玉 木 実	登壇一問一答方式
1 0	1 6 番	松 尾 榮 子	登壇一問一答方式
1 1	1 番	柿 原 健 一	一括方式
1 2	1 7 番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答方式
1 3	1 2 番	海老原 作 一	一問一答方式
1 4	8 番	米 井 重 行	登壇一問一答方式
1 5	1 3 番	近 藤 瑞 枝	一問一答方式

質 問 1

質問者 5番 伊藤 真一

1 「家族農業の10年」における市の構想について

国連が定めた「家族農業の10年」がスタートして3年目となる今年、コロナ危機を受けて小規模・家族農民の中に、持続可能で公正な社会をつくるための運動に対する期待が改めて高まっています。

- (1) これまでの支援と、効果はどの様なものだったのか伺います。
- (2) 今後について、市の支援はどの様に考えているのか伺います。
- (3) 今年の米価に対する、市の対応についての考えを伺います。

2 生活保護の扶養照会について

このコロナ禍の中で、失業者が増えているとの報道を多く聞きます。市のHPでは生活保護を受ける前に、「親子、兄弟などから援助を受けられる場合は、できるだけ援助してもらってください。」と書かれていますが、申請のあり方について伺います。

- (1) 生活保護を受ける相談に来た方々に、親族から援助を受けられるかを確認しているのかを伺います。
- (2) 国会では、厚労相は「法的な義務ではない」と答弁していますが、市の見解を伺います。
- (3) 申請事前の「できるだけ援助してもらってください」の文言を削除して、誰でも申請できる様にならないかを伺います。

質 問 2

質問者 15番 増 田 葉 子

1 改めて運賃値下げの枠組みを

北総線沿線自治体の補助による通学定期の値下げが始まって二十年近くになります。すでに通学定期が値下げされていることをご存じない市民がほとんどであろうと思われませんが、耐震化工事への補助と引き換えに平成27年度から始めた10年間の値下げ期間は残すところ3年です。

運賃値下げ運動はこれまで様々な経緯をたどり、怨恨を残し、ここ10年ほ

どは千葉県がいっさい関わりをもたない状態が続いていると理解していますが、新知事の誕生で変化がもたらされるのでしょうか。これまでの値下げ運動をリセットし、改めて値下げにつながる枠組みを構築していくべきだと思います。そこで、以下の質問をします。

- (1) 運賃値下げに向け、現在どのようなことが行われているか。
- (2) コロナ禍前、今年度中にも累積赤字の解消が期待されていたが、テレワークや外出自粛で北総鉄道の経営にどれほどの影響があったか把握しているか。
- (3) 運輸施設整備支援機構の長期債務の償還期間は25年間であったが、北総鉄道では元金償還の支払い猶予が2度にわたってなされ、期間は10年延長されて令和8年度までであったと思うが、間違いはないか。
- (4) 2期線分の償還が始まった平成7年度に、県、UR、京成電鉄があわせて88億円の増資と187億円の融資を行っているが、これらの債務は現在どのくらい残っているのか。
- (5) 今後はどのように運賃値下げに取り組んでいくのか。

2 第4次地域福祉計画での具体的取り組みは何か

地域福祉とは高齢、障がい、生活困窮、出産・育児など、たて割りになっている福祉施策を地域でつなげる方策を示すもので、福祉政策の大きなビジョンだと考えています。今年度から始まった第4次地域福祉計画で、具体的に何がどう進むのか注目しています。そこで、以下の質問をします。

- (1) 第3次計画で掲げられていた「具体的取り組み」の中で、主に着手・実現できたものとできなかったものは何か。
- (2) 第3次計画で着手・実現できなかったものは第4次計画に盛り込まれたか。
- (3) 第4次計画では具体的に何に取り組んでいくのか。

質 問 3

質問者 7番 小川利彦

1 印西市の考える市内の均衡について

印西市内には市街地と市街化調整区域があり、それぞれの地域において諸問題や課題等があるものだと思います。

市内の全ての地域を均衡ある地域とするには大変な状況ではあるが、市が取

り組んでいるSDGsの17の目標の観点からも均衡という政策について伺います。

- (1) 均衡ある地域づくりをする事での地域バランスについて
- (2) 居住環境について
- (3) インフラ整備について
- (4) 教育環境について
- (5) 印西版の地方創生SDGsについて
- (6) 今後の方向性について

質 問 4

質問者 10番 浅 沼 美弥子

1 新型コロナワクチン接種事業

(1) 余剰ワクチン廃棄防止の工夫

余剰ワクチンを廃棄することなく活用する自治体の取り組みが進んでいる。埼玉県戸田市の「コロナワクチンもったいないバンク」に希望者を募集する取り組みや、新潟県三条市の、教職員や保育士などを事前に登録して接種する取り組みなどだ。一方で首長をはじめとした自治体幹部の明確でない優先接種に厳しい目が向けられた事例も発生している。

- ① 予約者が来なかった場合の対応
- ② 余剰ワクチンの優先接種について、ルールの透明性と市民への説明
- ③ 「優先順位（医療従事者を除く。）②」として位置付けている基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者の把握と接種券の配布
- ④ 9月に海外留学等を予定している等特別な事情がある人への優先接種の対応

2 コロナ禍で顕在化する女性の人権問題（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）

(1) 「生理の貧困」問題

- ① 経済的な理由から生理用品を購入することが難しい女性がいる問題は、「生理の貧困」と呼ばれコロナ禍で顕在化。そこで、3月23日会派公明党は「コロナ禍における女性の負担軽減に関する要望書」を市長に提出した。その後の取組状況を伺う
- ② 「地域女性活躍推進交付金」を活用するなど、民間団体との連携で継続的支援の仕組みを構築できないか

(2) 予期しない妊娠に関する相談窓口の案内

- 3 災害時の避難所におけるペットの受け入れ
市は令和3年4月1日に『ペットとの避難における避難所運営手引き』を作成した。
- (1) 手引き作成の経緯、目的等
 - (2) 同行避難の態勢整備等現状と課題
 - ① ペットの受け入れ可、不可の避難所の公表についての考え
 - ② 受け入れ不可の避難所にペットと同行避難してきた場合の対応策は検討しているか
 - ③ 避難所でペットが過ごす場所の設定はされているか
 - ④ 避難生活の長期化に対応したペット専用の避難所設置の検討
 - ⑤ 獣医師会や愛護団体との連携
- 4 安全安心なまちづくり 市民相談や過去の議会質問の進捗状況等を問う
- (1) 水道事業
 - ① 印西中学校周辺地区における水道敷設の事業化について
 - ② 令和3年5月13日夜に発生した小林北全域の断水について
 - ③ 水道スマートメーターの導入について
 - (2) 住居環境の問題
 - ① 県道印西印旛線沿いの空きマンションについての状況把握と対策
 - ② 賃貸住宅の安全性に対する市の取組
 - (3) 集中豪雨や台風による浸水、冠水対策、道路、水路の整備
 - ① 金山落の課題、進捗状況
 - ② 竜腹寺 1122 号線の冠水対策
 - ③ 浦部地先 00-101 号線、01-041 号線の舗装修繕等
- 5 SDG s について市民等の理解を深める取り組みをどう推進する考えか伺う

質 問 5

質問者 4 番 松 本 有利子

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- (1) 新型コロナワクチン接種について
 - ① ワクチン接種スケジュールについて

- ②予約システムについて
 - (ア) 集団接種について
 - (イ) 個別接種について
- ③人員体制について
- (2) 学校における新型コロナウイルス感染症の情報共有について
 - 教育委員会や学校では、学校内での感染症患者の発生等についてすぐに情報を共有されていると思うが、学校外で児童生徒が関わるような状況で新型コロナウイルス感染症患者が発生した際、どのように情報共有を行っているか伺う。
 - ①これまでのケースと市の対応について
 - ②課題と今後の方針について
- 2 保育所等の医療的ケア児の受け入れ体制について
 - 令和2年第1回定例会において、幼稚園と保育園の医療的ケア児の受け入れ体制について質問をしたが、国では障害児通所支援の基本報酬改定や、保育所での医療的ケア児受け入れに関するガイドラインが策定されるなど、医療的ケア児への支援が進んできている。そこで、市ではどのような取り組みが検討されているか伺う。
 - (1) 現状について
 - (2) 市での検討状況について
 - (3) 国のガイドラインを踏まえた今後の取り組みについて
- 3 特別支援学級について
 - (1) 特別支援学級数と児童生徒数の変化について
 - (2) 人員配置について
 - (3) 今後の方針について
- 4 市内防犯灯の不点灯対策について
 - 市内の防犯灯において、LED化を進めたり、不点灯の際はすぐに修理依頼を行ったり、市では日頃より市内安全のための取り組みをされている。
 - そのような中、頻繁に不点灯となる防犯灯も見受けられる。
 - そこで伺う。
 - (1) よく不点灯となる防犯灯について
 - (2) 市で行っている対策について
 - (3) 専門的調査の実施について

質 問 6

質問者 6番 稲 葉 健

1 ゼロカーボンシティ宣言に向けて

ゼロカーボンシティとは、「2050年までにCO2（二酸化炭素）の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨（脱炭素化）を、首長もしくは地方公共団体から公表された都道府県または市町村」のことを指しています。

- (1) 市としては、「2050年までのCO2排出実質ゼロを目指す」事についてどのように考えているか。
- (2) 市としての取り組み状況について伺う。
- (3) 県の取り組み、近隣市での取り組み状況について伺う。
- (4) 市内の団体からも要望書が市長へ提出されていると聞いている。市として「ゼロカーボンシティ宣言」を将来的に表明する考えはあるか伺う。

2 花火大会中止に係る裁判に関すること

- (1) 令和3年第1回定例会において市長より「裁判所からの和解勧告を受け入れ良好な関係を築きたい」との事だがその後の状況について伺う。
- (2) 和解に向けての市長の考えを伺いたい。
- (3) 今後市でも花火大会をまた復活させて頂きたいがどのように考えるか。

3 地域の文化・芸術支援について

令和2年第3回定例会において市長の所信表明からの地域文化・芸術活動の支援策の具体的な構想について伺った。

- (1) 現在具体的にどのような内容が検討されているか伺う。

4 いのち支えあういんざい自殺対策計画について

令和3年3月に市は、誰も自殺に追い込まれることのない印西市の実現を目指していんざい自殺対策計画を策定した。

- (1) 印西市における自殺の現状について

①市の現状として中高年層の50歳代の男性の有職者（被雇用者・勤め人）の自殺者が多くなっている。また、年齢別死因の1位が20代30代では自殺となっている。これについて市としてどのように分析しているか。

- (2) 自殺対策の取り組みについて

誰も自殺に追い込まれることのない印西市の実現を目指して5つの基本施策について伺う。

質 問 7

質問者 20番 山 田 喜代子

- 1 新型コロナウイルスから命と暮らしを守るために
コロナを封じ込める施策について。
 - (1) 無症状者からの感染を防ぐPCRなどの検査をする考えはあるか。前回の結果をふまえて改めて考えを伺う。
 - (2) 変異株の全数検査の考えはどうか。
 - (3) ワクチン接種が始まったが、現状はどうか。
市民にわかりやすく正確に情報を提供しつつ、接種を希望者全員に行きわたらせる考えはあるか。
 - (4) 中小企業等、生活困窮者への緊急の生活支援の考えはあるか。
 - (5) すべての医療機関への減収補填、病床確保の手立てをとるよう、国・県へ求める考えはあるか。

- 2 コロナ禍のもとで必要とする人への生理用品無償配布を令和3年2月3日文部科学省は「保健室の機能及び備品について整備を図るよう」県知事・県教育長はじめ関係機関に通知を出した。これを受けて教育委員会は困窮する若者、生理のある人への無償配布、学校・公共施設のトイレに返却不要の生理用品を常備する考えはないか。女性の生理は人類が子孫を残すためのものであり、この解決は女性のみならず、男性と社会、ジェンダー平等の課題であると考える。

- 3 健（検）診の受診の充実、受診率の向上に向けて
今年もまた健診のお知らせが届いた「健康診査や、がん検診などの受診率向上」に努めるため、以下の実施への考え方を問う。
 - (1) 個別、集団の自己負担額を無料あるいは低額にする考えはないか。
 - (2) 胃がん検診はバリウム検査の他、胃カメラの導入の考えはないか。
 - (3) 健（検）診項目を拡大する考えはないか。例えば歯科・眼科健診等。

- 4 交通安全対策としての横断歩道等の改善について
横断歩道の白線については、これまで議会で繰り返し取り上げられているにも関わらず改善の兆しが見えない。市内全域の横断歩道、センターライン等の状況を確認、把握しているのか。また、総合計画では「警察に要望する」とあるが、その後はどうなったのか。

- 5 地産地消の推進について
コロナ禍による需要減で、米の過剰在庫が生まれ、米の販売不振と米価下落は底なしの状態だ。「このままでは2021年度米価は1万円そこそこになり、暴落は2年以上連続という事態になりかねない」とJA全中（全国農業協同組合中央会）が試算している。

- (1) 市の農業の実態はどうか。
- (2) 過剰在庫を市の責任で買い取り、生活困窮者等に食糧支援する考えはないか。

質 問 8

質問者 3番 藤 江 研 一

1 新型コロナワクチンの円滑・迅速な接種について

(1) 高齢者へのコロナワクチン接種に関する現状と課題

- ①高齢者へのワクチン接種計画前倒しに係る対応状況は
- ②7月末までに接種困難な場合はその課題・理由、接種できる場合はその前提条件は何か
- ③市における時間外・休日の集団接種、医療機関接種の実施は
- ④歯科医師の接種対応と要員確保に関する当市の考え方は
- ⑤市職員による代理でのワクチン接種予約は

(2) 今後の対応

- ①日本医科大学千葉北総病院との連携は
- ②時間外・休日接種を実施する場合の時間外・休日加算創設など市の追加補正予算対応は
- ③厚生労働省関連の負担金、補助金等の活用は
- ④特定健診の実施期間の見直しは

2 防災・減災・災害対応力の強化について

- (1) 気象防災アドバイザーの活用
- (2) 流域治水とマイタイムライン作成
- (3) 高齢者の個別避難計画
- (4) 大雨時の「高齢者等避難」情報、「避難指示」発表

3 子育て安心社会の実現について

(1) ヤングケアラー問題

- ①早期発見・把握に関する今後の取り組み
- ②SNSを活用したオンライン相談
- ③福祉サービスの利用促進

(2) 新生児に1人10万円給付（制度の狭間問題）

- (3) 低所得の子育て世帯支援（子ども1人5万円給付）
 - ①ひとり親世帯への支給、申請が必要な世帯への対応状況
 - ②デジタル関連6法成立とふたり親世帯への迅速な給付
 - (4) ひとり親世帯の家賃支援などを含む自立促進パッケージ
 - (5) 家計急変時の就学支援活用
 - (6) デジタル教科書導入とDX（デジタルトランスフォーメーション）
 - ①デジタル教科書の導入状況
 - ②デジタル教科書活用など教育DXに対応する教職員研修
 - ③紙面活用と対面学習の併用
 - (7) インクルーシブ遊具の設置
- 4 だれ一人取り残さない、誰もが輝く社会の実現について
- (1) シルバーパスの適用範囲拡大
 - (2) LGBTパートナーシップ制度

質 問 9

質問者 21番 玉 木 実

「県道千葉ニュータウン南環状線」南側と「市道00-026号線」との間に位置する原小学校街区に特化した質問をいたします。平成23年3月市議会において「40戸連たん制度」の改正がなされて10年が経過しました。いまだに市街化調整区域となっているこの地区は、近年目覚ましく住宅が立ち並んでいる。

印西市総合計画においても、牧の原圏の発展に寄与して、都市マスタープランにおいても、「40戸連たん制度」の記載があり一定条件を満たせば住宅建設が可能となっている。

- 1 市街化調整区域10年間の住宅建設戸数についての推移について
- 2 市民課として、過去5年間のこのエリアの世帯数：人口変動について
- 3 宅地化が急速に進んでいるこの地区は、農業振興施策の変更はあるか。農家の就労数に変化はあるか。
- 4 10年前からの師戸川の水質検査について
- 5 この地区の上水道整備状況の推移について
 - (1) 県営水道の普及率はどのくらいの戸数か。

6 下水道整備の推移について

(1) 印西地区衛生組合に運び込む汚泥処理量の推移について

7 過去5年間の原小学校通学児童の推移について

8 10年経過して今後は都市計画税を視野に入れて、市街化区域同様に「都市計画を促進する」方法は考えているか。

質 問 10

質問者 16番 松尾 榮子

1 市内進出企業等の動向と計画の把握について

千葉ニュータウン事業の終了に伴う短期間の広大な分譲用地で、現在も新たな企業進出、住宅建設、新規開業等が続いている。一方では新型コロナ禍等、企業活動に影響を与える新しい状況も発生している。市内のこうした企業動向について、市として把握し、計画的なまちづくりを進める必要がある。そこで伺う。

(1) 新規進出・開業等の状況について

(2) 休廃業等の状況とコロナ禍の影響について

(3) 住宅建設・販売等の動向について

2 緑の基本計画と公園、緑地の活用について

新型コロナウイルスの蔓延により、市民の日常生活も大きく様変わりしてきた。

ステイホームが生活に根付き、遠くへの旅行を控え、健康の維持、運動不足の解消を兼ねて散歩やウォーキングを楽しむ市民が増え、市内の公園、緑地等の重要性が増してきている。印西市は、都市公園が181か所、一人当たり17.5㎡と、全国でも上位の公園面積を有する。これからの時代、緑豊かな公園があることは市民の健康増進や市民交流に役立ち、市民の誇りであり、また市の魅力の一つとしてPRポイントにもなる。限られた予算をできる限り有効に使い、市民の財産である公園や道路等の緑を適切に管理し、最大限活用していきたい。そこで伺う。

(1) 緑の基本計画に掲げる「緑の創出エリア」(緑化重点地区)について

①木下駅南口地区の計画と現況

②次期中間処理施設建設予定地周辺地区の緑化の考え方

③印旛中央地区の緑化の考え方

(2) 樹木・植栽管理スケジュールについて

樹木や植栽の管理について、特に年度の変わり目の対応について伺う。

①公園について

②緑道や道路の植栽について

(3) 水辺を生かした公園整備について

浦幡新田近隣公園は、調整池の周囲と緑を生かしたニュータウン地区では貴重な水辺のある公園だが、公園部分は整備されていても、調整池周りは草木がぼうぼう茂り、手入れもされておらず、周遊道路からも水辺がほとんど見えない状況である。管理の状況を伺う。

(4) 緑の活動拠点について

道作古墳群、ぶらり川めぐり、白鳥の郷、別所緑地、武西の里山等は、市民団体による環境保全・観察の活動の場として、緑の基本計画に緑の活動拠点と位置付けられているが、それぞれの市民団体の活動に対してどのような支援を行っているか伺う。

3 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設について

人口・世帯数が大きく増加している千葉ニュータウン中央駅圏に不足している健康・福祉や子育て、文化・芸術機能を補う公共施設として、4月実施方針が定められ、現地説明会等民間事業者の募集及び選定の作業が開始されたと聞いている。そこで伺う。

(1) 進捗状況

(2) 事業スキームについて

(3) 新施設の機能について

(4) 1号館の改修について

(5) 2号館の解体について

(6) 北総花の丘公園との連携について

(7) 民間機能について

①医療モールの計画について

②飲食施設の計画について

③整備時期について

質 問 1 1

質問者 1 番 柿 原 健 一

1 新型コロナウイルス対策について

- (1) 65歳以上の高齢者については、市がPCR検査の実施を打ち出し社会の反応も高かったが、実際に検査した人数は何人か、それは全対象の何%に当たるのか。
- (2) 印西市においては、他市に先駆けて65歳未満の方々を対象としたPCR検査を市の負担で実施することを提案する。特に、東京方面に日々通勤される市民の12%に当たる方々には、不安解消の助けともなり無料の対応は歓迎されると考える。市長の考えを聞きたい。
- (3) 在宅要介護高齢者や重度身障者のワクチン接種のため、要望家庭への派遣の可能性について伺う。出来ないとするなら、その理由は何か伺う。

2 市内を走る国道の管理不全の是正について

- (1) 国道沿いの投棄ごみについて管理者への清掃撤去の依頼を行ったことがあるか。過去1年間に、国道管理者に撤去依頼の連絡を取った回数と清掃された実績の回数を伺う。
- (2) 道路法で定める管理行為のうち「維持」は、安全性を主眼としており、美観を損なう道路沿いの投棄ごみ等は地域対応が多くなっていると聞くが、印西市として考えられる対策は何も検討されていないのか伺う。
- (3) 国道沿いを歩くことすら危険を感じる国道を、安全に人が通行できるようにするため、市が実施または検討した事例があれば伺いたい。

3 「善行」を顕彰する件について

- (1) 印西市表彰規則の第2条で定める対象者は、(1)号から(6)号までが、従事した職名と在職期間が明記され自動的にフィルターとなっているが、(7)号から(10)号についての対象選定基準が不明確である。不特定の中から対象者を選ぶとするなら、だれがどんな方法で選ぶのか、現状を知りたい。
- (2) 印西市表彰規則の第2条(9)号に「市民の模範となる善行をしたもの」とあるが、過去に、この項によって挙げられた表彰者は何名か。その際の行為と選定基準は何か。
- (3) 「善行」には、人命救助や災害時の対応等瞬間的な行為と、「市民の安全な生活を陰ながら支え続けてくれる児童の見守り活動」などや「日々に潤いをもたらす環境美化の活動」など市民のボランティア活動などがあげられると考える。

「善行」の ①具体的な行為を定め、②どのような方法で誰が選ぶのか、③実施した期間等を明示することで選定に明瞭な基準を与えることが必要と考えるがいかがか。

質 問 1 2

質問者 17番 軍 司 俊 紀

1 新型コロナウイルス対策について

印西市では新型コロナウイルス感染者が556例（5月20日現在）報告されている。

市では、新型コロナウイルスにどのように向き合っていくのか。

(1) ワクチン接種について

①現状をどのように認識しているのか

②課題について、どのように考え、対策をとっていくのか。

(2) 感染拡大を防ぐための予防啓発をどのように行っているのか

(3) 経済対策について

(4) 学校教育について

(5) 市職員の働き方について

2 避難行動要支援者避難支援計画について

市では、災害対策基本法に基づき、災害時の避難に際し、何らかの支援が必要な方を対象とする「避難行動要支援者名簿」を作成し、平常時から町内会・自治会、民生委員等の避難支援等関係者に名簿情報の提供を行っていき、災害に備えた避難計画の作成や日頃の見守り活動に活用するとしている。

現状と課題、今後の計画をお聞きする。

3 子育て家庭の負担軽減のために

令和3年7月の市内保育園入園のための情報が5月19日に発表され、

206名の保留児童がいることが公表された。

(1) 令和4年4月には定員が大幅に増えることは理解できるが、令和3年度中の保育ニーズにはどのように応えるのか。

(2) 保育園に入園を希望していない世帯に対しての子育て情報の周知は充分か。

4 牧の原駅南地区の教育施設について

- (1) 児童生徒数の増加傾向により原小学校は再びの増築計画があるが、西の原小も含めた通学区域の変更は想定していないのか。
- (2) 西の原中の増築は必須だと考えるが、市当局はどのように対応を行っていくのか。
- (3) 居住人口を考えると社会教育施設は大規模修繕工事中のふれあい文化館だけでは不十分だと考えるがどのように認識しているのか。

質 問 1 3

質問者 12番 海老原 作 一

1 新学校給食センター整備について

- (1) 将来の児童生徒数の推移について
 - ①推計値の上振れリスクをどのように考慮したか。
- (2) 各学校給食センターの給食供給能力について
 - ①給食供給能力の最大食数での対応期間をどう考えているか。
 - ②各給食センターの運営側に対応可能かどうかの確認はしているか。
- (3) 新学校給食センターの整備スケジュールについて
 - ①年度途中の供用開始は先例があるが可能か。
 - ②基本設計及び実施設計の実施期間は短縮可能か。
 - ③整備スケジュールを工夫することにより前倒しすべきではないか。

2 市道舗装の計画的な点検・診断・補修について

- (1) 合理的な道路舗装の健全性の点検・診断について
 - ①道路舗装の健全性の点検・診断に対する考え方及び現状について
 - ②新しい技術活用による点検・診断方法の調査検討をしているか。
- (2) 計画的な道路舗装の補修について
 - ①道路舗装の補修は現在どのように行っているか。
 - ②道路舗装の点検・診断に基づく計画的補修についてどのように考えるか。

質 問 1 4

質問者 8 番 米 井 重 行

1 市内の幹線道路の整備状況について

- (1) (仮称) コスモス通り未買収地の取得状況
- (2) 市道 00-026 号線、船尾地先から戸神地先までの進捗状況
- (3) 市道 00-117 号線、船尾地先から松崎地先までの区間の整備状況
- (4) 市道 00-031 号線、小林小学校から小林浅間地先までの道路整備及び用地の取得状況

2 新型コロナウイルス対策

- (1) 印西市独自のワクチン接種証明書

3 コロナ禍での地元経済対策

- (1) プレミアム商品券

質 問 1 5

質問者 1 3 番 近 藤 瑞 枝

1 「生理の貧困」について

「生理の貧困」に対する取り組みが、全国的に活発になってきている。生理用品の購入が困難な人への支援が主たる目的である。

背景には家庭の経済的困窮やネグレクトなどの看過できない重大な課題があると推察され、「生理の貧困」はそれらが内包する問題の一端に過ぎない。

まずは、経済的に保護者に頼るしかない児童・生徒を主な対象者として活動を始めた市民団体がある。その実態を知ることは、当市の児童福祉の向上に繋がるものと考えている。

- (1) 他自治体の取り組み状況を把握しているか。
 - ①市民全体を対象とした取り組み
 - ②小学校・中学校等、学校を対象とした取り組み
- (2) 市民団体 Shake Hands の活動について認識しているか。

(3) Shake Hands の活動への協力について、団体が活動を実施するにあたり、場所の提供は可能か。

①公民館・図書館等

②中学校